

千葉日報社長賞

にしき ひろこ
錦 広子

思えば以前は、恋に恋するような恋愛をしてきた。
自分の気持ちをコントロールできなかったり、
相手の気持ちを疑ってばかりだったり。
かなり一方的で身勝手な恋だった。
それなのに、君とは知り合ってからずっと友達だった。
「好き」とか、ましてや「結婚しよう」とか言われた覚えがない。
なぜ結婚できたのか未だに不思議だよね。
そして、今なお友達みたい。とても居心地の良い場所なんだ。
息子が生まれたときは、まるで戦友だったね。
ミルクもおむつも共に挑んできた。
それでも、育休明けの共働きの子育ては、母である私に負担が増えて、私の怒りが爆発したこともあったね。
でも、結果は君の勝利。宣戦布告に対して困った顔をするだけ。
怒っているのが馬鹿馬鹿しくなって終結したの。
悔しいけど、完敗と言わざるをえない。
最近は平日の休みが増えたので、二人でデートを楽しんでいるね。
自然をこよなく愛し、郷土史や建築に興味がある君に連れられていく先は、何の変哲もないところが多い。
たまには、名所や観光地にも足を運ぶけど、
こちらあまり期待していないので、不満はないよ。
そんな君を尊敬しているし、信頼している。
だから、ずっと友達のように暮らせるし、
この恋心は冷めることはないかな。
これから老夫婦になっても、仲良しの友達同士でいようね。

「信愛なる君へ」

錦 広子

(千葉県／53歳)